

日本学術会議地球惑星科学委員会・IUGG 分科会

IAMAS 小委員会

(第24期・第5回) 議事録

1. 日時：2020年5月18日(月) 14:00-15:30
2. 会場：遠隔会議(主催会場：東京大学先端科学技術研究センター)
3. 出席者：中村尚[委員長]、浮田甚郎[幹事；議事録]、三好建正[幹事]、塩谷雅人、
中島映至、近藤豊、松本淳、鬼頭昭雄、佐藤薫、江守正多各委員(計10名)
欠席者：高薮縁委員

4. 配布資料

IAMAS 小委員会(24期第5回) 資料

1. 第24期第4回IAMAS 小委員会議事録
2. IAMAS 執行部名簿
3. IAMAS 各国際委員会執行部名簿
4. IUGG Newsletter (2020年5月号)
5. 提言(案)「持続可能な人間社会の基盤としての我が国の地球衛星観測のあり方」
(表紙)
6. 「地球惑星科学分野における科学・夢ロードマップ(改訂)2020」抜粋

5. 議事

[1] 第24期第4回会合の議事録を確認した。

[2] 最新の国内外情勢に関する情報交換

i) 中村委員長から資料2と3を用いて今期(2019-2023年)のIAMAS体制の概要が報告された。

ii) 中村委員長から資料4を用いてEGU(2020年5月4日~8日)、JpGU-AGU(2020年7月12日~16日)がオンライン開催になるなどCovid-19(新型コロナウイルス)による国際会議への影響が報告された。

iii) 中村委員長から資料6を用いて地球惑星科学分野における科学・夢ロードマップ(改訂) 2020 の概要が報告された。

[3] その他

その後は日本気象学会学術委員会と合同で、航空機観測、地球衛星観測、データ利用、放射能汚染に関する対策に関してそれぞれ情報交換、討議を行った。

日本気象学会が日本大気化学会、日本航空宇宙学会と合同で日本学術会議マスタープラン 2020 に提案した「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進」が重点大型研究計画 31 件の 1 件として 2020 年 2 月に選定されたこと、これと並行して文部科学省の「大型プロジェクトの推進に関する基本構想ロードマップ 2020」に重点大型研究計画として提出され現在ヒアリングに向けた準備が進んでいることが報告された。

第 23 期に日本学術会議から発出された提言「我が国の地球衛星観測のあり方について」(資料5) のフォローアップとして、提言(案)「持続可能な人間社会の基盤としての我が国の地球衛星観測の在り方」が日本学術会議 第 24 期地球惑星科学委員会地球・惑星圏分科会 地球観測将来構想小委員会により取りまとめられ、2019 年 12 月 24 日に地球・惑星圏分科会により承認されたこと、次のステップとして地球惑星科学委員会での審議が予定されていることが報告された。また関連する宇宙計画基本法の改定案について情報交換を行った。

提言「我が国の地球衛星観測のあり方について」のボトムアップ部分を担う「タスクフォース会合・リモートセンシング分科会による「地球観測グランドデザイン」、「地球観測衛星ロードマップ」の取り組み、および「将来の静止衛星観測に関する検討会(MInT)」の活動について情報交換を行った。

気象研究コンソーシアムを介した気象庁データの提供の可能性、オープンデータ化とデータの DOI 付与、大規模データのアーカイブに関する日本気象学会データ利用部会による取り組みについて情報交換を行った。

日本気象学会の中に設置された放射能汚染に関する対策部会における活動、特に数値拡散モデルの第三次比較結果および放射能汚染に関する対策についての気象研究ノートの進捗について情報交換を行った。